が、メタボリックシンドロームを示す28名では21名(75%) が7歳児にすでに肥満があったとの報告がある(Vanhala M et al. BMJ; 317-319, 1998)。

成人肥満発症の起源は小児期以前にさかのぼれる。Body Mass Index (BMI)は5〜7歳で最低値をとり年齢とともに徐々に上昇する。この小児期の体脂肪減少から増加に転じる減少はBMIリバウンドと呼ばれ成人期の体脂肪の増加が既にこの時期から始まっていると考えられている。このリバウンドが低年齢化することで肥満を加速すると考えられている。

肥満を誘発する因子として摂取エネルギーおよび脂質の過多、食生活の乱れがある。肥満児では朝食欠食が非肥満児にくらべ3倍以上多く、間食、夜食摂取なども多い。これらの習慣は大人になっても続くことから、小児期にその親も含めしっかり指導するが重要である。小児の肥満は都市部より非都市部に多い。非都市部では移動に車を使うことが多く、逆に都市部ではスポーツクラブに入る子供が増えいわゆる‘ジャンクフード’の摂取が見直されているのが要因と考えられている。従って小児の運動指導も予防には重要である。

6. 謝辞

今回、講習会参加と本稿執筆の機会を与えて頂いた北海道医師会および会員の方に謝辞を申し上げます。

〔参考図書〕

メタボリックシンドロームup to date　日本医師会雑誌第136巻

お知らせ

北海道医師会育英資金のご案内

◇総務部◇

北海道医師会では、会員または会員であった方のご子弟に奨学資金の貸付けを行っております。

この、育英資金制度の貸付者は、今日までに30余名の実績があり、すでに医学部を卒業し医業にご精励されている方もいらっしゃいます。

制度の概要を下記のとおりご案内いたします。

記

貸付の対象となる方は？

北海道医師会員または北海道医師会員であった者のご子弟で、家計状況、学業成績等から見て奨学のため資金を貸付するのに適当であると思われる者。

貸付期間は？

大学医学部および医科大学在学期間中

貸付金額は？

月額5万円〜10万円

なお、貸付金は無利息です。

返還期間は？

医師免許取得3年後から10年間以内に原則月割りで返済。

申込み方法は？

北海道医師会員から所属の郡市医師会を経由し、北海道医師会に申請してください。運営委員会の議を経て理事会で、申請者への貸付が決定されます。